来月のテーマ

最近の少年非行に思う

投稿ください・みなさんの意見交換の場がこの市民談話室です。来月のテーマは、「最近の少年非行に思う」です。吉田さんの提案について、気軽に意見をお寄せください。また新しいテーマと意見を提案していただいてもけっこうです。薄謝をさしあげます。ページの都合で、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根一二三五　白根市役所企画財政課広報広聴係。一月十六日までに郵便ポストへ。

今月のテーマ

困ります、歩道の商品陳列

私の意見

今月の提案者

鈴木幸子さん
（桜町・中学生・15歳）

商店街は年々華やかさを増してきました。華やかになっていくのはいいのですが、反面困ることがあります。それは歩道の商品陳列や出店のような感じの商品販売です。その歩道を通学路にする生徒たちは、とっても困っているのです。

このことをハガキで市長さんにお話したら、私有地なので店の人から自粛してもらうほかありませんとのお返事でした。

私有地だからといえばそれまでなんですが、狭い歩道に出店があれば買い物客が集まり、通れません。車道には買い物客の自転車でいっぱい。私たちはやむをえず、車道の中心近くを車を避けながら通っています。ほかの道は街灯が少なく暗いためできれば通りたくありません。みなさんのご意見をお聞かせください。

いつも安全に通れる歩道であってほしい

五十嵐智子さん
（西酒屋・会社員・22歳）

人は、道路を歩く際、安全な歩道を歩きたいと願います。しかし、商品が陳列してあったり、歩道いっぱいに広がって買い物する人たちで、通れないことがよくあります。

「私有地だから自粛してもらわないと」とおっしゃる市長さんのお返事。市としてはそれしかいいようがないと思います。

でも私たちは、歩道のあるところは歩道を歩きなさいと、交通安全指導を受けています。たとえ私有地でも、市民が安全にしかも楽しく買い物ができるような歩道であってほしいと思っています。

歩道が通れない場合、車道に降りて歩くわけですが、どこも違反を承知でとめる車の列。そこも通るに通れない状況です。そのためにも、早く駐車場をつくってほしいのです。

これから雪が積もり、道路事情はますます悪くなります。歩道を提供する商店主、歩行者、それにドライバーが互いにおもいやりと、譲り合いの精神を大切に、楽しく買い物や、通勤通学できる商店街にしていきたいものです。

並んで楽しく買い物できる明るい歩道に

遠藤霞恵さん
（中大郷・主婦・29歳）

私たちは車道と歩道が分かれている道路では、当然歩道を通ります。その歩道は空き箱を山積みしたり、商品を並べて狭い歩道を一層狭くしています。

また店頭売りをする商店の前は、雨の夕方などは戦場のようです。その店の前には決まって自動車や自転車が無造作におかれ、歩道を通れない歩行者は、雨の中、小走りに車道中央をう回している光景をみかけます。

最近、広報に『お買い物は市内の商店でぜひどうぞ！』という記事がよく載っています。しかし、狭く、暗く、しかも空き箱や商品が歩道を占領する商店街を楽しく、ゆっくりとショッピングを、といった気持ちにはどうしてもなれません。

その歩道が私有地だから、規制はできないとはいうものの、市民にとって歩道は歩道なんです。私有地だから商品を並べても、店頭売りしても自由だという考え方では、ますます客離れを引き起こすのではないでしょうか。二人並んでゆったり買い物できるくらいのスペースは確保してほしいと思います。

がん木は店の一部知ってほしい過程

匿名

歩道の商品陳列は困るという中学生の提案があったわけですが、営業はしていないものの、がん木を持つ一市民として、意見を述べさせてもらいます。

昭和六年、市街地の約半分が焼け落ちた白根大火の復興のとき、町に協力して無償で店をけずってがん木部分を提供してきました。みなさんのいわゆる歩道、すなわちがん木は私たちの私有地の一部です。

市民が自由に通れるこの公共的な歩道＝がん木は、たとえこわれても市では直してくれません。ましてやこのがん木にも税金がかけられており、私たちはそれをも負担させられています。

私たちは確かに現在、歩道として使用されるがん木ではあるものの、これまで黙って市へ協力してきた過程を知ってほしいのです。がん木は店の一部ですから商品を並べても、そこで販売をしようと、がん木を持つ所有者の自由だと、私は思っています。

何度お願いしても改善されない商品陳列

匿名

この問題に関しては、何度もお願いしてきましたが、ちっともよくなっていません。

一の町、中央通り、五六の町が特に悪く、がん木に商品や看板、自動販売機が通行の妨げになるほど並べてあります。

市の方で、それらの業者に注意しにくかったら、警察署から注意をうながしてくださるようにお願いしてください。

同様に中心街の歩道と車道の低くなった部分は、いつもあきかんやゴミで汚れています。互いに自分の店の前の車道部分もきれいに清掃してくださるようお願いいたします。

子どもたちの交通安全のためにも整備を

匿名

鈴木さんの意見に全く同感です。特に通学する子どもたちがかわいそうです。雨の日など、なおさらのことです。

歩道いっぱいに並べられた商品を買う人と歩行者が混雑し、大人はズーズーしく心を鬼にして通ることはできますが、子どもたちはそうはいきません。

また、そんな店の前ほど乱雑に置かれた自転車や、路上にとめられた乗用車がピッシリ。車道は通りたくないのですが、やむをえず車を避けながら通ることもしばしば。子どもたちの場合は、特に不安でいっぱい。

商店ごとにがん木がデコボコで、木造もあったりして狭いうえに暗く、楽しく買い物ができるような雰囲気ではありません。本町通りの名に恥じない商店街づくりを進めてください。

係から　今月は匿名希望が多く、テーマからしてやむをえませんでしたが、できるだけ匿名はご遠慮ください。なお匿名のみなさん、おなまえをお聞かせください。薄謝を差しあげます。

来月の提案者

最近の少年非行に思う

吉田澄子さん
（古川宮前町・主婦・43歳）

最近、新聞紙上に「たばこ注意され放火」「両親をバットで殴殺」「女教師に土下座を強要」など、中学生や高校生の暴力行為が、毎日のように報道されています。同じ年ごろの息子を持つ親として、深く考えさせられます。

一つの関門に高校、大学入試があります。高望みしなければそれなりの進学はできると思いますが、学歴優先社会であれば親子間でいざこざが起きるのも当然かも知れません。そのひずみが、高校生から中学生全体にまで及んできたとすれば、これは大きな社会問題です。

簡単にケリのつく問題ではないと思いますが、せめて親が賢くならなければならないと思います。新聞記事の中で、

□子どもへの期待過剰をやめる
□兄弟を比較するな
□しかり方に気をつけろ
□子どもの適性を早く見抜け

と、ありました。

心に留めておきたい内容だと思いますが、なかなか難しい問題です。他人ごとではないこの問題を、みなさんはどうお考えですか。

あの日あのとき

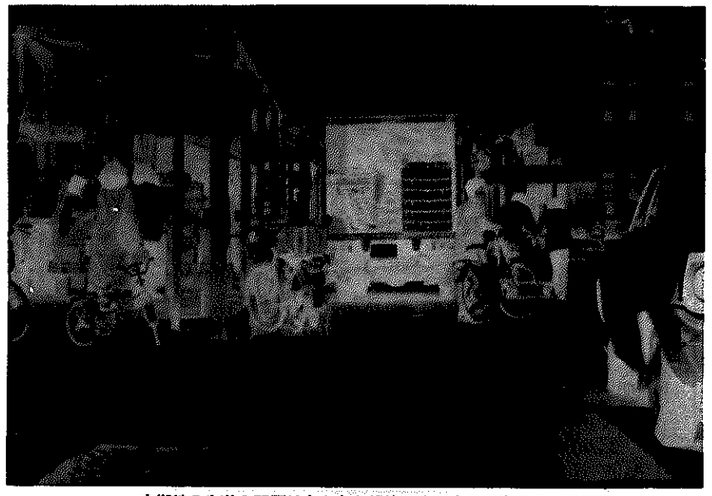
市役所移転で大きく変身

市道8号線

ときおり農耕車が行きかうのどかな田んぼ道。はざ木並木が一層、田舎風情をかもし出していました。

昭和46年の市役所移転にともない、市道8号線の整備をはじめ、現在戸頃地内の一部を残してほぼ工事を終えています。この道路は理研電線工場前の三差路から、電報電話局わきを通り、国道8号線を横切り、中の口川堤防下に至る総延長 1,925㍍の市道になる計画です。

この道路が整備されるにつれ、沿線は大きく変わりました。多くの公共的な建物が移転し、2つの公園や商店、民家が立ち並び、まもなく保健センターができ、周辺には総合体育施設や県道バイパスの建設も計画されています。


市街地の歩道の問題はなかなか解決の糸口を見い出せない難問題。
みんなで楽しく買い物できる繁華街に早くしたいものです

昭和40年ころの田んぼ道

大きく変わった市道8号線

【私の思い出】

長谷川勝子さん
（中央通り）

電報電話局が移転してくるまでは、そこは機工場で一日中機を織る音が響いていました。その東側一帯は松林で、その周囲は一面田んぼでした。

電報電話局前に交差点ができて付近は一変。朝夕を中心に、大変なにぎわいです。